

「わたしのカルテ」 アンケート結果について

平成26年10月

地域包括ケアを支える伊達ネットワーク委員会

医療・介護連携部会

1 アンケートの目的

「わたしのカルテ」をご利用なさっているご本人・主介護者様、担当介護支援専門員より利用実態、利用しての効果、新たな課題を把握し、今後の「わたしのカルテ」の有効活用・ケアの向上につなげる。

2 アンケートの概要

1) 実施機関：平成26年10月

2) 対象者：①「わたしのカルテ」ご利用なさっている
ご本人・介護者様
②伊達地域（伊達市・国見町・桑折町・川俣町）の
居宅介護支援専門員

3) 回収結果：① 32名
② 63名

3 「わたしのかるて」 利用者情報

●性別： 男性 7名 女性 25名 ●平均年齢： 81.5歳

●年代別利用者



●平均介護度： 3.5

●要介護度別利用者



●地域別利用者

国見町： 2 桑折町： 4名 旧伊達町： 6名 旧保原町： 7名 旧梁川町： 6 旧霊山町 旧月舘町： 0名 川俣町： 2名



ご本人・介護者アンケート結果

●主となる病気

認知症：14 脳血管疾患：11 整形疾患：4 悪性腫瘍：4 その他：14

●利用している医療・介護サービス



●主介護者平均年齢：64.5歳

●平均介護歴：3.6年

●主介護者続柄

妻：6名 夫：2名 息子：5名 娘6名 嫁：6名 親族：2



4 介護支援専門員情報

● 「わたしのカルテ」を使用している

- ① 利用者がいる介護支援専門員数：36名 平均ご利用者数：33.8名
- ② 「わたしのカルテ」を使用している平均利用者数：2.4名

5 ご利用者・介護支援専門員共通情報

● 「わたしのカルテ」を利用して

①医療と介護サービスの連携がとりやすくなった。



②医療・介護サービスに相談できるようになった。



● 私のカルテを利用してみて

③ご使用者の体の調子や支援内容がつかみやすくなった。



④主介護者やご使用者の看病や介護の不安が減ったか。



● 私のカルテを利用してみて

⑤良くなったこと

ご本人・介護者様：

- ・主介護者以外の家族もカルテを見るとわかるので伝わりやすい。
- ・先生に意見を書いてもらおうと、他の職種の人たちに見てもらえ、安心してお世話になることができる。

介護支援専門員様：

- ・ご家族がカルテを記入したり見たりするようになり、ご利用者の健康面の变化やサービス利用時の状況を意識してくれるようになった。
- ・カルテに情報が集約していて、ご利用者に関わる支援者が誰が見てもわかり、情報が共有しやすくなった。
- ・病状や診療方針への利用者、家族の思いや最後をどのように迎えたいかなど利用者様やご家族様の思いが見えて良い。

●改善してもらいたいこと、期待したいこと。

ご本人・介護者：

- ・老眼なので字を大きく書いていただけるとありがたい。
- ・カルテを入院時や受診時にも持参すればよかった。既往歴などを何度も説明しなくてはいけなくて大変であった。できればカルテ自体に「受診時持参すること」と記入してもらいたい。
- ・わたしのカルテに協力してくれるお医者さんが増えてくれるとうれしい。

介護支援専門員様：

- ・主治医によって使用の有無が分かれるが、往診だけでなく通院時にも活用できればと思う。
- ・もっと使用していただける介護サービス、医療機関が増えるように周知してほしい。
- ・記載事例などがあるとご家族やサービス事業所へ説明し活用しやすい。
- ・本人、家族も理解しやすいように専門用語の使用は少なくしてほしい。
- ・医療依存が低い利用者も利用してもらいたい。ただ、ケアマネがカルテをある程度管理しなくてはいけなく責任が重い感じがする。

- 「わたしのカルテ」があったほうがいいか。



6 まとめ

「わたしのカルテ」を利用することにより、ご本人・介護者・介護支援専門員より医療や介護サービスと連携がとりやすくなった、ご利用者本人の状態がつかみやすくなったという意見が多く見られ、「わたしのカルテ」の使用は利用者対し一定のケアの向上、多職種連携に効果があるものと判断できる。

一方で医療や介護サービスへ相談することや、不安の軽減に関しては現状の「わたしのカルテ」だけでは不十分であり、今後相談がしにくい原因や具体的な介護の不安を把握しながら、他作業部会と連携し改善が必要と考える。

ただ、今回アンケートの記入で「わたしのカルテ」を使用し記録を共有することで介護の不安や負担が軽減できたとの意見があることは確かであり、今後より多くの方に「わたしのカルテ」を使用していただけるように周知していきたい。